

協力会社次世代インタビュー Vol.1

森長専務（以下、森長）
では自己紹介をお願いいたします。
石橋取締役（以下、石橋）
私は現在三十四歳で、高校卒業後から十五年石橋工業で勤めています。初めて森長さんと一緒に仕事したのは、入社して三年目に担当した吹田市の小学校の現場だったと思います。



株式会社石橋工業 取締役 石橋 達也 様
森長 寛 専務

今号より、当社の事業に欠かせない存在である施工協力会社の若手経営者や後継者の皆さまに、当社の森長専務が聞き手となって、仕事に対する想いや今後の展望をお伺いする記事を連載していきます。
記念すべき第一回は、当社の協力会社である「森栄栄会」の会長も務めて頂いている株式会社石橋工業さま！
一九九四年に設立され、左官工事を手掛けてこられました。当社との付き合いは一九九五年頃から約三十年にわたります。
今回は現社長のご長男で、取締役を務めていらっしゃる石橋達也さんにお話を伺いました。

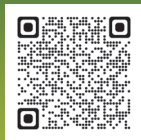
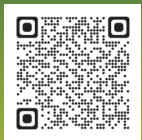
森長 昔から家業に入ろうとお考えだったんですか。
石橋 小学生の頃から、具体的にどんな仕事をしたいのかは理解していませんでしたが、いずれは父と一緒に働く決めていましたね。多分、将来の夢に刷り込まれていたんでしょうね。
森長 それは私と同じですね。では昔から現場や職人さんとも馴染みがあったんですか。
石橋 そういふ訳でもなかったです。祖父の葬式やたまに自宅に遊びにくる職人さんと顔見知りになっていた程度でした。だから入社した時は周りの目も厳しかったと思います。父からも鼠眉なして、一番きつい仕事を振られたりしましたから。
森長 私はゴルフや行事で一緒にすることが多いので、石橋社長はいつも陽気で話しやすい方、という印象でした。そういう厳しさもあるのが驚きです。
石橋 やっぱ仕事の時はスイッチが切り替わるんですよ。

すべて手持ちのものを最善に生かすことが、人間的叡智の出発点と言える。
(森信三)

森長 当社に対しては、どんなイメージをお持ちですか。
石橋 イメージはみんな真面目。根が悪いみたいなのがなくて、良くも悪くも優等生タイプの人が多いんじゃないかなという印象がありますね。現場で怒鳴られたこともないですし、年配の所長さんでも物腰が柔らかい方ばかりです。現場に率先して出てこられる方も多いです。
森長 ありがとうございます。それでは最後に達也さんの今後の抱負をお聞かせいただけますか。
石橋 やっぱ父たちが作ってきた会社を残していきたいという気持ちもあるので、誰かが継いでくれるような会社になりたいですね。そうすると私自身もやり甲斐が出てくると思います。
森長 そうなるようにお互い協力して頑張っていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
石橋 ありがとうございます。

編集後記

MORINAGAPRESS第24号編集にあたり、ご協力並びにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。
今年もコロナ過の夏となり真夏でもマスク着用が必要な場面も多く、熱中症等逆に体調を崩しそうになりながらの生活を送られた方も多いのではないでしょうか…。
このような中、当社でも夏以降のこの数か月でコロナ陽性者が数人発生し、社内や現場では一時期かなり多忙な状況にもなりました。ご迷惑をお掛けしてしまった関係者の皆さま方へはこの場を借りてお詫言申し上げます。
(編集担当：営業部)



森長工務店の旬の
情報をお届けします。



巻頭メッセージ P.1
お客様センターインタビュー P.2
お客様訪問・トビックス P.8
竣工日より・進行中現場 イベント情報
協力会社次世代インタビュー P.4

人間的叡智

すべて手持ちのものを最善に生かすことが、人間的叡智の出発点と言える。

人が生きる上で、すべての条件が揃うことはありえないことで、与えられた条件を受け容れ、その条件をいかに生かすかに集中する以外に生きようはないのです。
例えば有能な主婦は、忙しくて買い物に行く暇さえない時には、冷蔵庫に残っている手持ちの食材で美味しい食事をつくることに集中します。材料のないことを嘆く時間はないのです。不平不満などの雑念を退けて結果を出すことに集中しなければ、お腹を空かせている子供たちを満足させる「人間的叡智」も出てこないのです。
ところが、これほど当たり前なことを私たちは往々にして見失ってしまいます。十分な条件が揃っていないことを嘆き、不平不満に時間を費やしてしまう。中には、一生を「無いものねだり」に使ってしまう人さえいる。与えられた条件が悪いことを嘆き、不平不満に時間を無駄に費やしてしまうのは、その人の生きる姿勢が、人頼りで他力に頼って人生を渡ろうとしているからです。そこには自立も主体性もなく、自分が自分の人生の主人公であることを放棄してしまっているのです。

松下幸之助は自らを「素直の初段」と称していまし

た。手持ちのものがいかに不足しているように、それを受け容れ、手持ちの条件で直面する困難を乗り越えることを「素直」と表現したのだと思います。その「素直」に徹する覚悟があったからこそ、幾多の困難を乗り越えて世界の松下電器を創り上げることができたのです。
企業は新しい状況に対応したり、新たな目標に向かって進もうと企業革新に取り組めば、必ず条件の不足に直面します。そんな時に、現状を受け容れる覚悟がなければ、手持ちのものを最善に生かすという「人間的叡智」は生まれてこないのです。企業革新とは不足条件を整備するもとをつくることであり、いたずらに嘆くのをやめて、人間的叡智に向かって進んでいかねばならないのです。



代表取締役 森長 敬

～お客様センターインタビュー～

籠顧問編

業務が重なり即日対応やお客様のご指定日に対応できない事もあるのですが、常日



職人さんと打合せしながら作業確認の様子

「やはり慣れるまでは大変だったんですね。多岐に亘る業務をされていると思いますがどのよう
な事を意識されていますか？」
籠 迅速な対応を要求されるご依頼が多いので極力早期にできるように心掛けています。ただ業務が重なり即日対応やお客様のご指定日に対応できない事もあるのですが、常日



お客様センター 籠 昭久 (かご あきひさ)
1976年入社 (入社46年目)
お客様センター (配属3年目)

「3年前に工事部からの異動でお客様センターに配属になった当初の感想をお聞かせ下さい。」
籠 工事部で現場所長をしていた時は、一つの現場に配属され着手からお引渡しまで担当現場だけに集中して業務を行っていました。お客様センターに配属されてからは一日約4〜5現場の現地調査やお客様との打合せ等を行う事になり、着任当初は、日々の対応に追われて全く余裕が無い日々を過ごしていました。業務上、早期対応を求められる業務も多くあり、急遽のご依頼への対応で毎日の予定や時間が自分の思うように調整できず、慣れるのに大変でした。

「自社が新築した建物を工事部とは別の目線で検査するお客様センター主体の定期点検はお客様に建物を安心して長く使っていただく為にも、また当社の施工レベル向上のためにも大事な事ですね。」
籠 そうですね。その為にも、有償工事(経年劣化等で発生したお客様にご負担いただく工事)と無償工事(施工ミス等の影響で発生した当社負担の工事)のご説明はお客様に納得して

「お客様センターの重要な業務の一つとして定期点検があります。定期点検で意識されている点や注意されている点は先程のお答えと違う点がありますでしょうか？」
籠 そうですね。半年点検では、新築お引渡し以降はじめての点検になるので、新築時に不備なく施工できているか念入りに建物を見るようにしています。1年点検以降は、過去の点検での見落としが無いか、また、過去に是正済みの箇所が再発していないかを意識して点検しています。実際にお客様が使用されている建物では、当社で気付きにくい日頃の不具合等も無いかお聞きしは正項目に反映するようにしています。



お施主様、職人さんと打合せの様子

「日々お忙しいとは思いますが、土居センター長と共にお客様のご期待に応え続けられるような活躍を期待しています。インタビューへのご協力ありがとうございました。」

「籠顧問の日報を拝見させていただいてもかなりのお客様からのご依頼事に対応されているのが伝わりますが、お客様からのご依頼が多い分、籠顧問のやりがいにも繋がっているのですね。それでは最後にお客様センターとしての今後の意気込みをお聞かせ下さい。」
籠 私が忙しく業務しているという事はその分、お困りのお客様やご依頼をいただいているお客様が居られるという事なので、そのお客様方に満足していただき喜んで頂けるように努力していきます。そのためにも常にお客様の立場になってご期待に応えられるように取組んでいきたいと思っています。

「頃からお客様とコミュニケーションを取り信頼関係を築けるように意識しています。施工中も新築工事と違い、私が現場に常駐できないので、職人さんのお客様や近隣さんに対するマナーにも注意するようにしています。あとは様々な種類の改修やメンテナンスのご依頼をいただくので、施工方法が間違っていないかの確認は職人さん達とも念入りに共有して施工ミスが起こらないように気を付けています。」

「お客様センターとしてのやりがいを感じる事はどのような事でしょうか？」
籠 工事部の時と違い、かなりの数のお客様とお仕事をさせていただいているので、その分大変に感じる事もあります。一方でお客様に頼りにしていただいていることを実感できる機会も多いので、それが直接仕事のやりがいにも繋がっています。私たちの業務はお客様がお困りになつてからご依頼をいただく事が多いです。こうしたご依頼事に真摯に向き合い誠実に対応させていただく事で、お客様と信頼関係を築き、感謝のお言葉をいただいたり満足していただけた時が一番やりがいを感じられる事だと思います。



設備搬入のお手伝いの様子

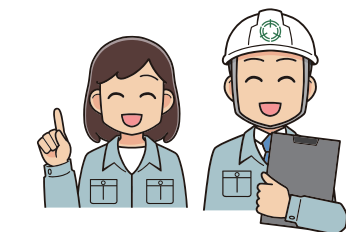
竣工日より

S社 豊中新工場新築工事



設計者：自社
完成日：2022年4月15日
構造・規模：S造・3階
施工床面積：4,511.60㎡

設計者：(株)服部建築事務所
完成日：2022年7月31日
構造・規模：S造・2階
施工床面積：2,219.16㎡



社内イベント情報

11月1日	創立記念式典	12月28日	仕事納め・納会
11月4日	安全研修会	1月5日	初出・新年祝賀会
12月3日	忘年会	3月1日	防災訓練

Instagram フォロワー 300アカウント突破!

おかげさまで、森長工務店Instagramアカウントを登録後、約半年経過しフォロワー数が300アカウントを超えました。ありがとうございます！温かいコメントを頂くこともあり、お客様やビジネスパートナー、そして協力会社さんなど、数えきれないほど多くの方々との繋がりに、支えられている事を改めて実感しております。Instagramを開業した経緯は、より多くの方々に森長工務店を知ってもらおう事。そして、飾らないありのままの森長工務店を知って貰い、親しみを感じてもらおう事です。これからも、変わらずに仕合せの輪が広がっていくよう、森長工務店を共有していきたいと思っています。

進行中現場

- 西淡路小学校増築その他工事
- 天王寺動物園 ペンギン・アシカ舎建設工事
- (株)S機械製作所京都工場 新事務所棟新築工事
- 野里小学校増築その他工事
- estageo太子橋新築工事
- (仮称)Villa Musica西宮 北口新築工事
- (株)S総合コンサル 新社屋新築工事
- 神戸PI住宅耐震改修工事

H社 新工場新築工事



お客様訪問



名神通商株式会社
代表取締役社長 仲 秀和様

弊社は、管工機材総合商社を営んでおります。人という文字のように、お互いを支え合つて物事をやり遂げることをモットーにすべての人が少しでも満足感が得られるよう、社員が一丸となって頑張っております。私は、二〇二〇年十月に代表取締役役に就任いたしました。実は、弊社が創業した一九六七年は、私自身の生まれ年でもあるのです。会社とは同級生ですので、今後とも共に成長してまいりたいと思います。

倉庫新築、住吉営業所新築、尼崎本社事務所改修、京都支店事務所改修などの建築工事で、お世話になっております。また、その後の様々なメンテナンスにつきましても、丁寧な対応をしていただいております。「安心してお任せできる」といつも思っております。森長工務店さんの良いところは、実際の工事になるのが、なるまいが、どんなことでも相談に乗っていただけるところです。また、実際に工事を担当してくださる社員の方や職方さんの方々が、大変親切・丁寧な仕事をしてくださる点です。そういうことから、また次に何かあれば、お声をかけたくようになります。今後も、末永いお付き合いをどうぞよろしくお願い致します。

トピックス

